

9	(地独) 東京都立病院機構	地方独立行政法人 東京都立病院機構 年度計画の実施 (令和4年度)
事業概要	「大都市東京を医療で支える」を理念に掲げ、すべての都民のための病院として、質の高い医療サービスを提供する。その実現のため、令和4年7月1日から令和9年3月31日までを計画期間とする中期計画及び令和4年度において取り組むべき事項を年度計画として定めた。	
これまでの経過	令和5年7月：法人を設立し地方独立行政法人東京都立病院機構中期計画に基づいた業務運営を開始	
現在の進行状況	<p><b>1 行政的医療の提供</b></p> <p>令和4年度のコロナ対応は、都の方針のもと、重症・中等症の患者や小児、妊婦、透析、精神疾患の患者のほか、対応にマンパワーを要する患者である新型コロナによる症状が軽くても重い基礎疾患を有する方や、認知症など介護度の高い方、障害をお持ちの方などを積極的に受け入れるとともに、高齢者等医療支援型施設(府中)の運営や、年末年始に向けて発熱外来の体制強化に取り組んだ。</p> <p>また、感染状況に応じて、コロナ医療と通常医療との両立を考慮した医療提供体制を確保し、周産期医療における母体搬送や小児救急、東京都精神科夜間休日診療事業、CCUネットワークへの参画などの救急医療をはじめ、行政的医療を着実に提供した。</p> <p>コロナ対応による厳しい状況下にあっても、医療的ケア児支援センターの開設や依存症拠点医療機関の指定などの都施策への貢献や、分子標的療法や通院治療センターのサービス向上など外来化学療法体制強化や、ロボット支援下手術等の低侵襲な手術の提供など質の高い医療提供の推進を行った。</p> <p>あわせて、令和5年度以降を見据え新たな取組を推進すべく、5Gを活用した遠隔医療支援の開始や東京モデルの総合診療医育成に向けた体制整備等、新たな取組も推進した。</p> <p><b>2 患者中心の医療、地域包括ケアシステム構築への取組</b></p> <p>患者が地域で安心して療養できるよう、地域の医療機関や訪問看護ステーション等と連携して、医療介護用SNSを活用した情報の共有、研修会や訪問看護同行支援によるケア知識の提供や技術支援に積極的に取り組んだ。</p> <p>また、患者・地域サポートセンターを中心に、患者の治療と生活の両立を支援するための様々な相談事業を行った。</p> <p><b>3 法人の運営基盤確立に向けた取組</b></p> <p>旧都立病院及び旧公社病院の一体的な独法化にあたり、職員が能力を最大限発揮し、組織の活性化を目指した人事給与制度の構築など、新たな制度構築を行った上での法人設立であり、法人移行後の様々な課題解決に取り組むとともに、4つのプロジェクト(①人材育成・活用 ②経営力強化 ③魅力発信 ④地域連携・サービス向上)を推進するなど、法人の運営基盤の確立に取り組んだ。</p> <p>また、国立大学病院長会議及びJCHOとの3者による共同調達事業への参画やDX推進計画の策定、有識者会議の設置及び開催など、法人の業務改善につなげる取組を行った。</p>	

今後の見通し	<p>第一期中期計画及び令和5年度年度計画に基づき、行政的医療の提供、患者中心の医療、地域包括ケアシステム構築及び法人の運営基盤確立に向けた取組等を推進する。また、公衆衛生上の緊急事態への対応として、令和5年5月8日に5類に移行するコロナ対応やその他の新興感染症に関しても、都の方針のもと、都や関係機関と連携し、率先して取り組んでいく。</p>		
問合せ先	地方独立行政法人東京都立病院機構 戦略推進室 戦略推進課	電話	03 (5320) 5817